

「知床永久の森林づくり活動候補地」調査地一覧

No.	地域	フィールド名	調査地の概況	調査 区数	調査区	林班小班	小班の林種の細分	小班的施業方法の 細分	保安林指定	その他法指定等
1	斜 里 町	オベケブ林道育樹祭地	樹林地(造林地)	1	10m×10m	1302林班へ小班	単層林(トドマツ)	複層林施業	水源涵養保安林	
2		チャラッセナイ林道1	樹林地(造林地)	1	10m×10m	1302林班に小班	単層林(トドマツ)	育成天然林施業	水源涵養保安林	
3		チャラッセナイ林道2-1	草地	2	2m×2m	1304林班	育成天然林	育成天然林施業	水源涵養保安林	
4		チャラッセナイ林道2-2				い小班				
5		チャラッセナイ林道3-1	草地	2	2m×2m	1304林班	育成天然林	育成天然林施業	水源涵養保安林	
6		チャラッセナイ林道3-2				は小班				
7		日の出林道1-1	草地	2	2m×2m	1222林班	単層林(トドマツ)	単層林施業	水源涵養保安林	
8		日の出林道1-2				そ小班				
9		日の出林道2	樹林地(造林地)	1	10m×10m	1219林班ら小班	単層林(アカエゾマツ)	単層林施業	水源涵養保安林	
10	羅 臼 町	春苅古丹林道1	草地	2	2m×2m	209林班	なし	なし	土砂流出防備保安林	
11		春苅古丹林道2				ロ小班				
12		精神川林道1	草地	2	2m×2m	216林班	天然生林(ダケカバ)	育成天然林施業	土砂流出防備保安林	地すべり等防止法
13		精神川林道2				に小班				

「知床永久の森林づくり活動候補地」現況調査結果の概要

1. 母樹、実生確認

【周辺母樹】

- ・調査地周辺の母樹となりうる樹種として、トドマツ、アカエゾマツの針葉樹のほか、ミズナラ、ヤチダモ、ダケカンバ、ホオノキ、イタヤカエデ等の広葉樹が確認された。

【造林地の実生】

- ・オペケブ林道、チャラッセナイ林道の造林地では、ナナカマド、イタヤカエデなどの実生が確認され、日の出林道では、20cm前後のイタヤカエデが確認されている。

【草地の実生 斜里町側】

- ・土場跡地の No. 3 では実生は確認されず、林縁に近い No. 4 ではヤチダモ、ハウチワカエデ、カツラなどの実生が確認された。河畔に近い No. 5、No. 6 ではハルニレ、ヤチダモ、ケヤマハンノキ等の河畔林を構成する実生が比較的多く確認された。日の出林道の No. 7 では、イタヤカエデ、ミズナラの 30cm を稚樹も見られた。

【草地の実生 羅臼町側】

- ・ササ筋刈跡地である春荊古丹林道の No. 10、No. 11 では実生は確認されなかった。精神川林道 No. 12 はダケカンバの実生、ケヤマハンノキの稚樹もみられたが、エゾシカの食害によりダケカンバの矮小化がみられた。精神川林道 No. 13 ではイネ科草本の吹きつけのため、実生は確認されなかった。

2. エゾシカ出没状況と食害

【出没状況】

- ・調査地全域において、エゾシカの痕跡が確認された。
- ・造林地 3 箇所ではいずれもエゾシカの冬フンが確認されており、越冬地として利用されていることがうかがえる。

【被害状況】

- ・調査地およびその周辺では、広葉樹の実生にエゾシカの食痕が多数見られた。No. 2 の造林地では、エゾシカの樹皮剥ぎによるものと思われる広葉樹（ホオノキ、イタヤカエデ、ミズナラ）の枯損木が確認された。

3. その他（オショロコマ、ヒグマ）

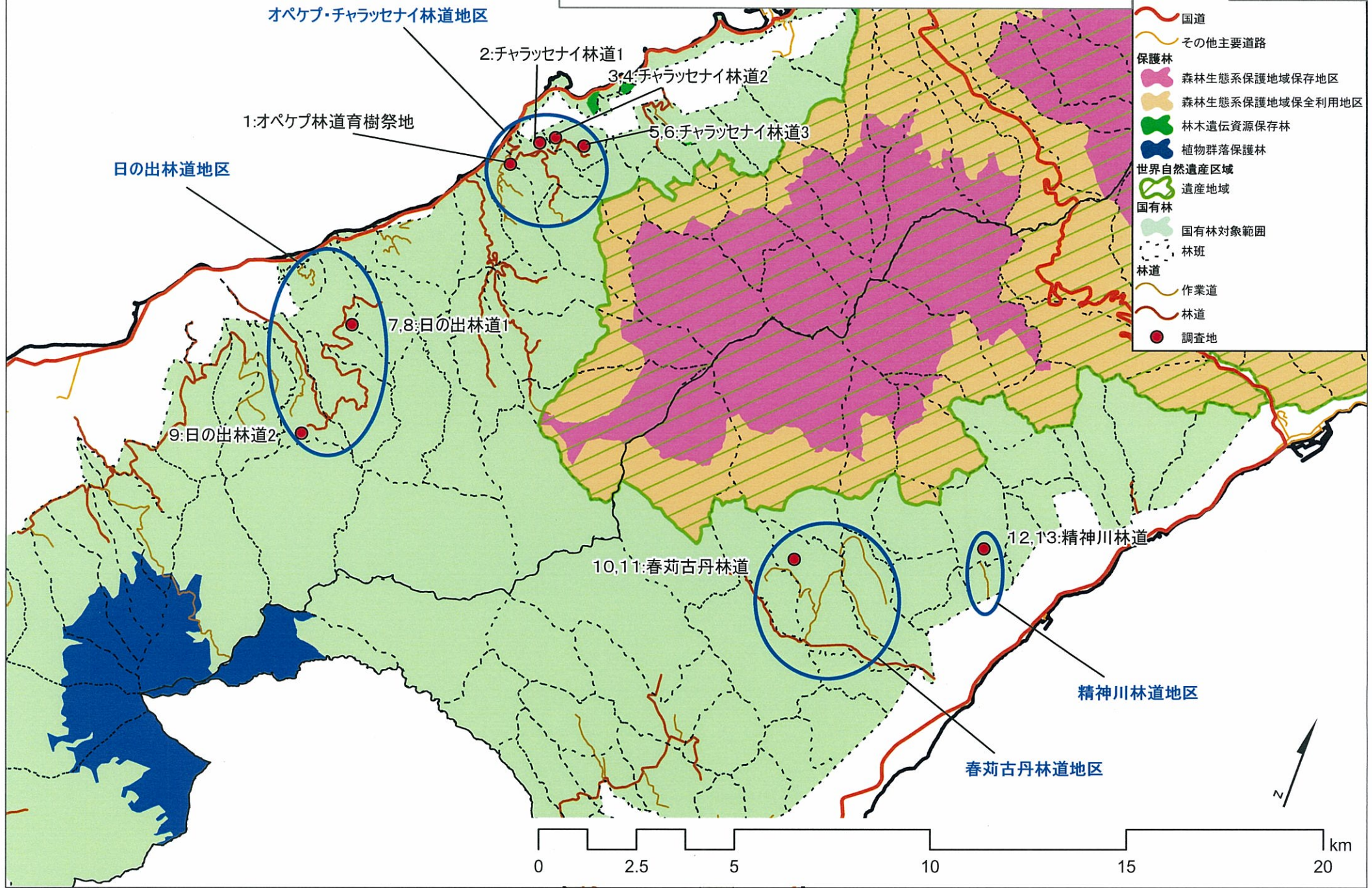
- ・チャラッセナイ林道の奥側の No. 5 No. 6 や春荊古丹林道 No. 10、No. 11 周辺の沢では、オショロコマが観察された。
- ・チャラッセナイ林道の奥側の No. 3～No. 6 の周辺では、フンのほか2頭のヒグマの足跡が見つかっている。

知床永久の森林づくり活動候補地調査位置図

資料4-3(1/5)

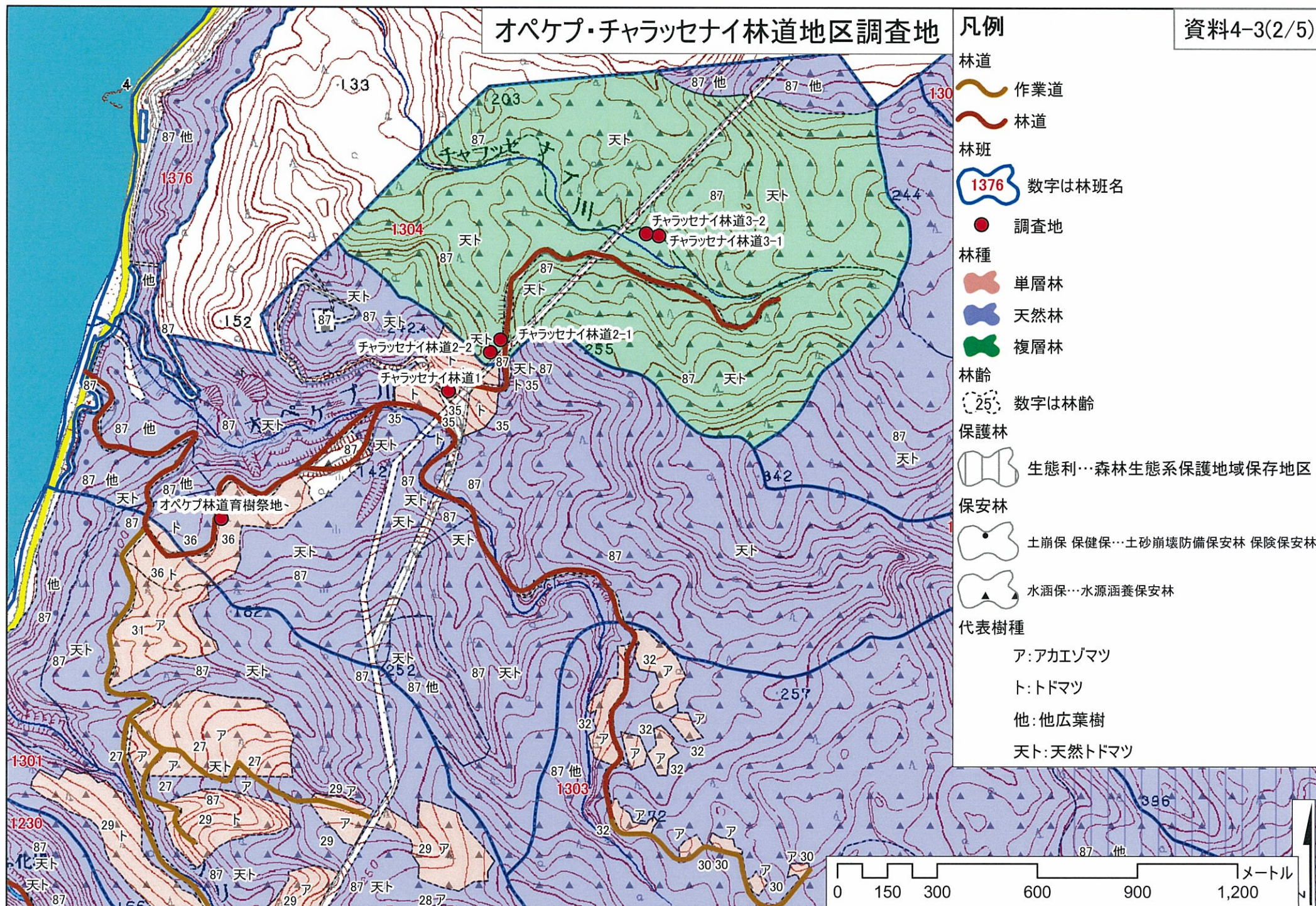
凡 例

- 行政界
- 国道
- その他主要道路
- 保護林
 - 森林生態系保護地域保存地区
 - 森林生態系保護地域保全利用地区
 - 林木遺伝資源保存林
 - 植物群落保護林
- 世界自然遺産区域
 - 遺産地域
- 国有林
 - 国有林対象範囲
 - 林班
- 林道
 - 作業道
 - 林道
- 調査地



オペケブ・チャラッセナイ林道地区調査地

資料4-3(2/5)



日の出林道地区調査地

資料4-3(3/5)

凡例

林道

作業道

林道

林班

1224 数字は林班名

調査地

林種

単層林

天然林

複層林

林齢

25 数字は小班の平均林齢

保安林

土流保…土砂流出防備保安林

水涵保…水源涵養保安林

代表樹種

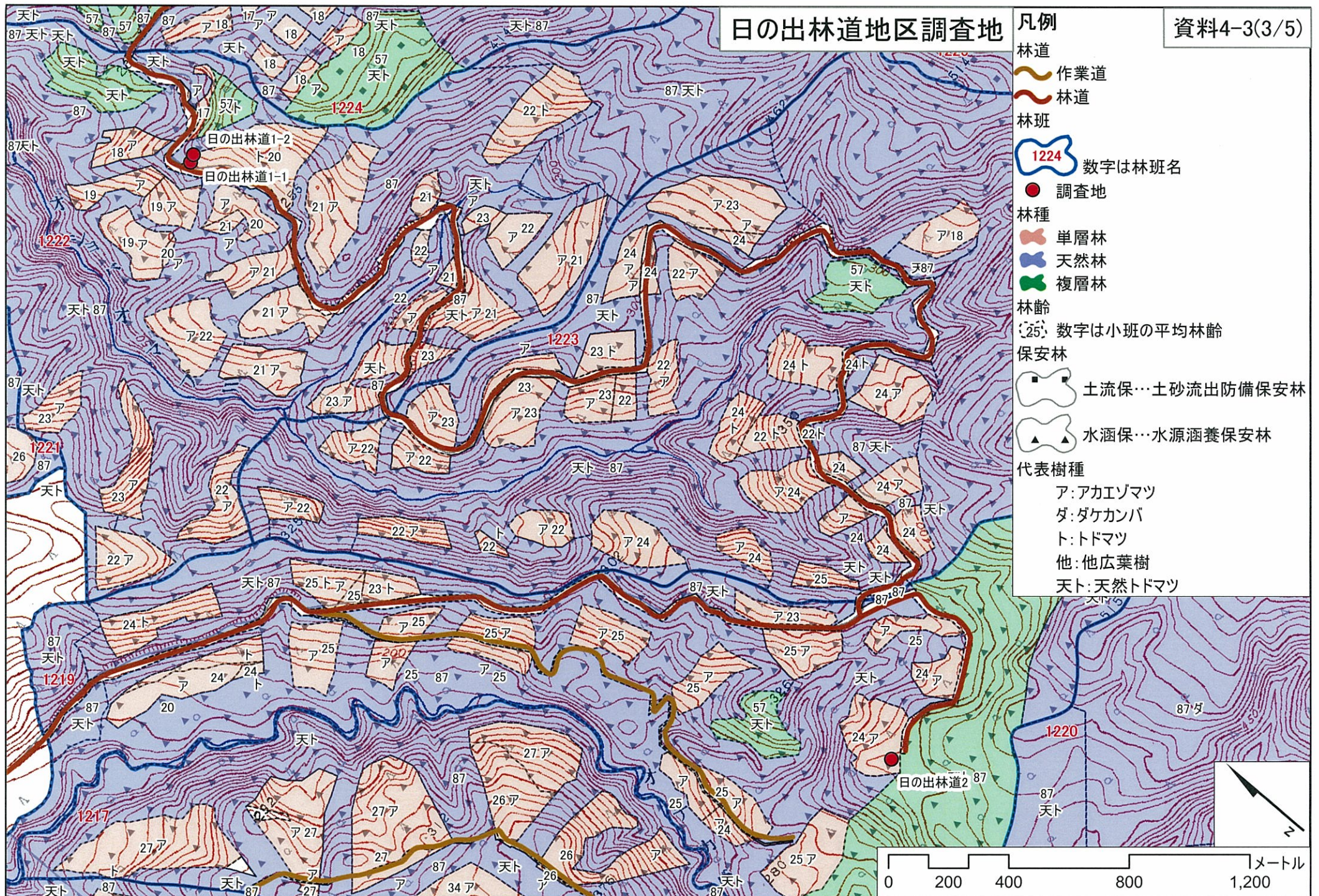
ア:アカエゾマツ

ダ:ダケカンバ

ト:トドマツ

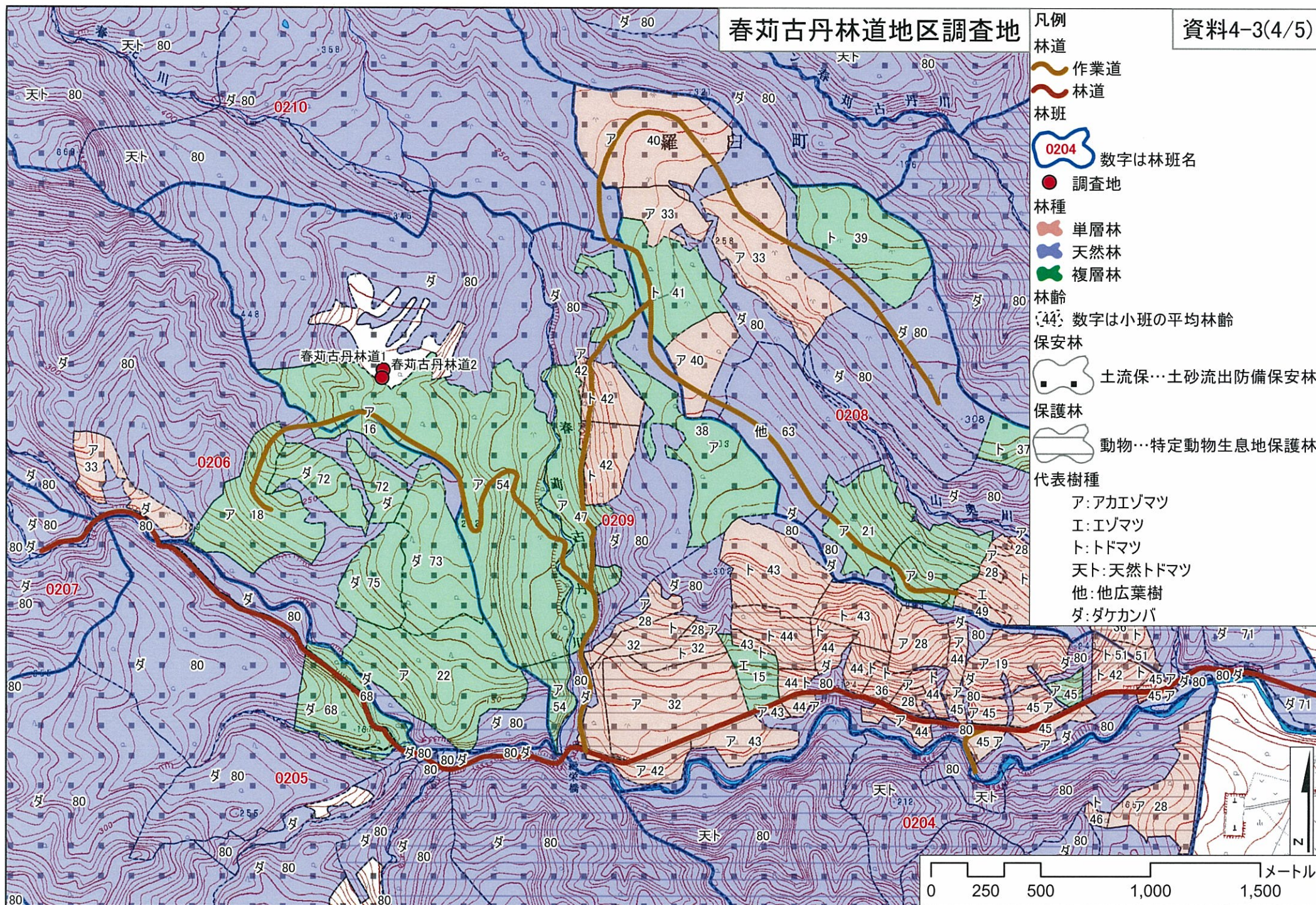
他:他広葉樹

天ト:天然トドマツ

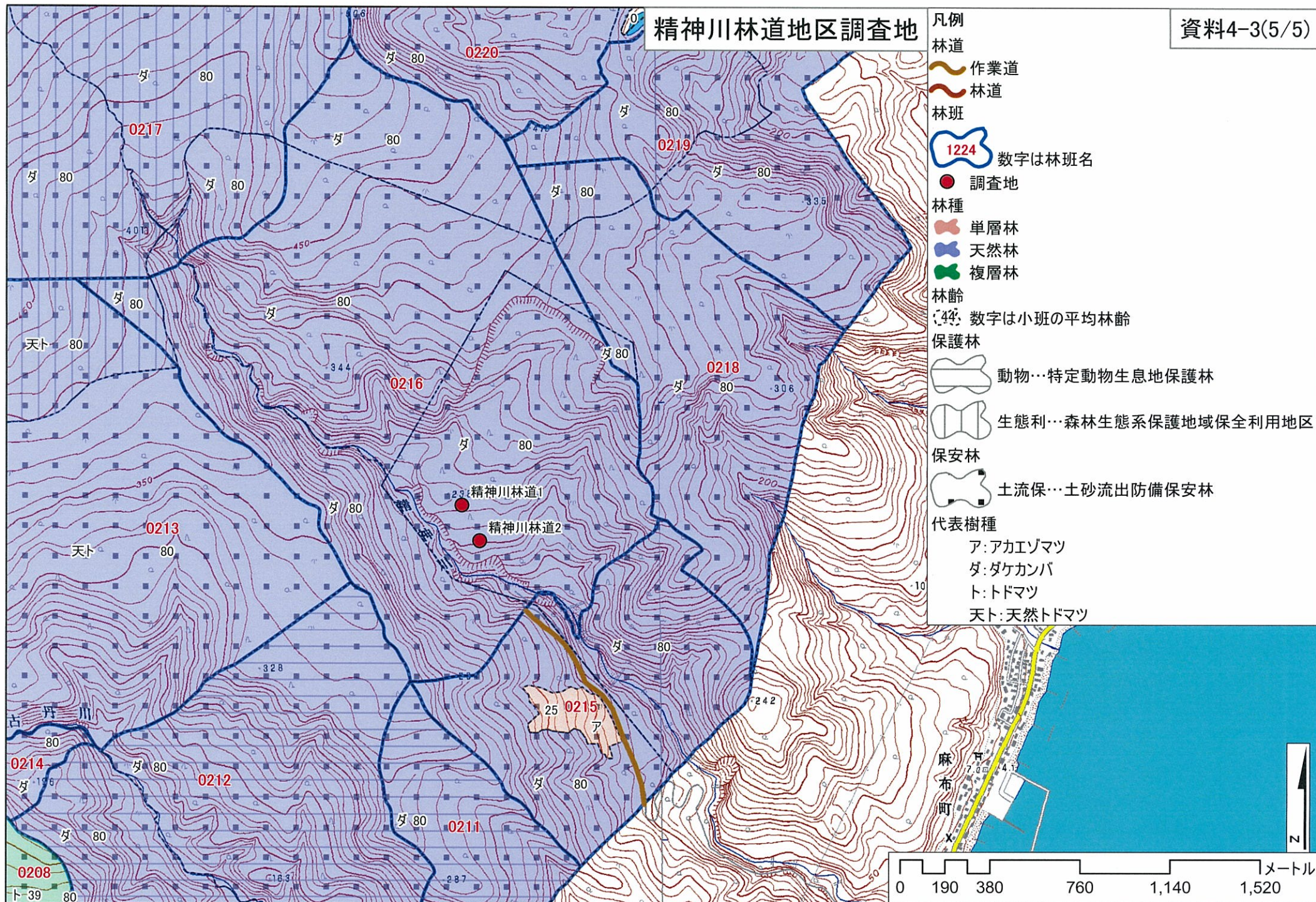


春苧古丹林道地区調査地

資料4-3(4/5)



資料4-3(5/5)



「知床永久の森林づくり活動候補地」現況調査

詳細結果（個別調査票）

No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
1	オペケプ林道育樹祭地	斜里町	10m×10m	2008/8/17 2008/9/19
	林班	小班	指定等	樹種
	1302	に	水源涵養保安林	トドマツ
	傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿
	N50W	10度	埴壤土	適湿
				礫の混入
				あり

調査地の概況[地形、景観等]

トドマツ造林地で林内は暗く、林床に草本及び実生は少ない。周辺樹林は、針広混交林で隣接する林道付近はやや開けているものの遠くまでは見通せない。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高木層	トドマツ	10.0-15.0m	100	22.8
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	スゲsp	0.09	15	-

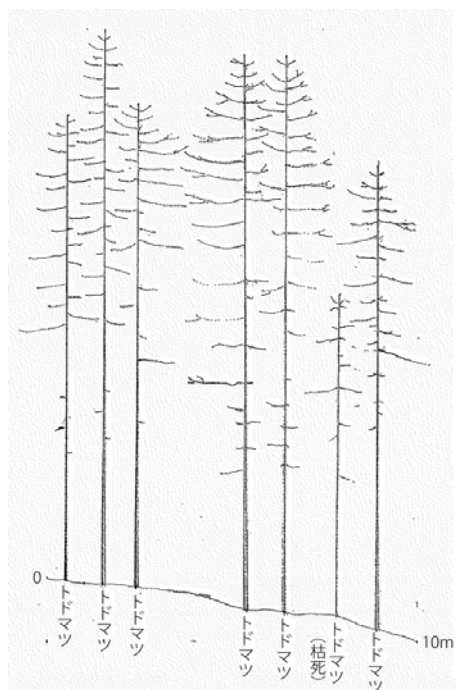
階層	被度・群度	種名
I	5 4	トドマツ
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	1 2	スゲsp
	1 1	シラネウラボ
	1 1	ミヤマスマレ
	1	トドマツ
	+	アカミノレイヨウショウマ
	+	ジンヨウイチヤクソウ
	+	アキタブキ
	+	カサスゲsp
	+	アメリカオニアザミ
	+	マイヅルソウ
	+	セイヨウタンポポ
	+	ヤブジラミ
	+	イケマ
	+	エゾノコンギクsp
	+	ナナカマド
	+	イタヤカエデ
	+	サルナシ
	+	ヤチダモ
	+	ツルウメモドキ
	+	キタコブシ
	+	ヤマブドウ
	+	マタタビ
	+	イワガラミ
	+	ツタウルシ

特記事項[動物:目撃、痕跡等]

- エゾシカ: ①冬糞あり
②足跡あり
③角研ぎ痕あり

■概略断面図



■現況写真



■高木層優占種概況

I.高木層 トドマツ (全20本中11本計測)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
胸高直径(cm)	27.9	19.7	18.8	27.7	25.2	13.4	22.9	24.8	23.6	23.6	23.6	22.8
幹周(cm)	87.5	62.0	59.0	87.0	79.0	42.0	72.0	78.0	74.0	74.0	74.0	71.7

■実生概況(調査区北東角2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)										
トドマツ	22	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	11.0	2.0	4.0	2.0	1.0	4.0
		2.0	1.0	6.0	4.0	4.0	5.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0
ナナカマド	8	10.0	7.0	4.0	2.0	4.0	5.0	4.0	4.0			
イタヤカエデ	7	7.0	5.0	7.0	4.0	5.0	8.0	1.0				
サルナシ	2	2.0	2.0									
ヤチダモ	1	5.0										
ツルウメモドキ	1	3.0										
キタコブシ	1	14.0										
ヤマブドウ	1	2.0										
マタタビsp	1	2.0										
イワガラミ	1	1.0										

■周辺の母樹

トドマツ ホオノキ ケヤマハンノキ バッコヤナギ ミズナラ ダケカンバ
 イタヤカエデ キハダ ハリギリ オニグルミ キタコブシ オオハコダイジュ
 ヤチダモ 計13種

■枯死木状況

樹種	数量(本)	樹高(m)	胸高直径(cm)
トドマツ	1	8.7	11.5



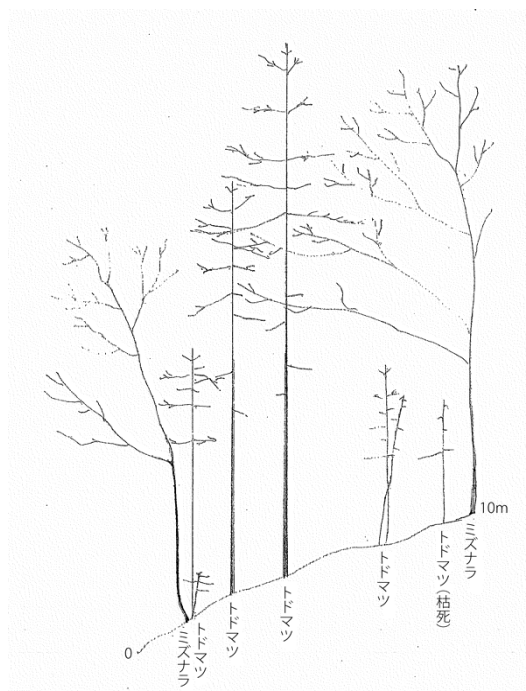
調査地の概況[地形、景観等]
トドマツ造林地で林内は暗く、林床に草本及び実生は少ない。調査地は、林道にはさまれた傾斜地で周辺の樹林は針広混交林。造林地に囲まれ、眺望は良くない。

階 層 構 造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高 木 層	トドマツ	8.0-15.0	90	23.0
II . 亜 高 木 層	トドマツ	3.0-3.5	25	4.5
III . 低 木 層				
IV . 草 本 層	マイヅルソウ	0.08	15	-

[illegible]

特記事項[動物:目撃、痕跡等]
エゾシカ:①冬糞多
②足跡あり
③角研ぎ痕あり
④樹皮剥ぎによる枯死木あり(別項に概要)

■概略断面図



■現況写真



■高木層優占種概況

I.高木層 トドマツ (大径木全17本中11本計測)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
胸高直径(cm)	26.4	17.4	30.6	18.2	14.6	30.3	17.8	22.6	16.6	23.9	34.4	23.0
幹周(cm)	83.0	54.5	96.0	57.0	46.0	95.0	56.0	71.0	52.0	75.0	108.0	72.1

■実生概況(調査区東角2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)						
イタヤカエデ	7	5.0	8.0	7.0	6.0	4.0	6.0	8.0
ナナカマド	2	6.0	6.0					
ツルウメトキ	2	3.0	5.0					
ハシドイ	1	5.0						
ハリギリ	1	4.0						
ミズキ	1	4.0						
オオハコダイシュ	1	4.0						
ハウチワカエデ	1	6.0						

■周辺の母樹

トドマツ ミズナラ ヤチダモ キハダ イタヤカエデ オオハコダイシュ
 オニグルミ ホオノキ ハリギリ ハウチワカエデ ケマハンノキ ナナカマド
 ダケカンバ イチイ

計14種

■枯死木状況

樹種	数量(本)	樹高(m)	胸高直径(cm)	備考
ホオノキ	1	*	*	シカの樹皮剥ぎによる。
イタヤカエデ	1	*	3.0	シカの樹皮剥ぎによる。
ミズナラ	3	*	4.0, 5.0, 6.0	シカの樹皮剥ぎによる。

* : 折れのため計測不能



No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
3	チャラッセナイ林道 2-1	斜里町	2m×2m	2008/8/17 2008/9/19
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
1304	い	水源涵養保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
平坦	平坦	砂壤土	乾燥	あり

調査地の概況[地形、景観等]

林道開削時に発生した土砂によって沢筋を埋め立て、平坦化したとみられる草地。そのため、礫が多く乾燥化している。周辺の山林は針広混交林。付近には高圧電線及び鉄塔が見える。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	シロツメグサ	0.09	60	-

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	4 4	シロツメグサ
	3 2	フランスギク
	2 2	ヒメヨモギ
	2 1	オオバコ
	1 2	ウシノケグサ属
	1 1	セイヨウタンポポ
	1 1	エダウチチコグサ
	+	コウゾリナ
	+	アメリカオニアザミ
	+	ネジバナ
	+	ヌカボ属

特記事項[動物:目撃、痕跡等]

エゾシカ: ①足跡多数
②夏糞、冬糞あり
③草本に食痕あり

ヒグマ: ①糞(080817確認)

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

なし

■周辺の母樹

オニグルミ	イタヤカエデ	ヤチダモ	シウリザクラ	ハリギリ	オオハホダシ
ダケカンバ	ハウチワカエデ	トドマツ	ホオノキ	ナナカマド	キタコブシ
ミズナラ	バッコヤナギ				
					計14種

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)								
トドマツ	9	90.0	25.0	123.0	10.0	3.0	77.0	14.0	14.0	6.0
タラノキ	8	7.0	11.0	8.0	18.0	4.0	23.0	10.0	12.0	
ヤチダモ	3	10.0	13.0	8.0						
ハウチワカエデ	2	19.0	9.0							
カツラ	2	33.0	25.0							
ノリウツギ	1	18.0								
サルナシ	1	36.0								
ダケカンバ	1	22.0								
キハダ	1	12.0								

■周辺の母樹

オニグルミ イタヤカエデ ヤチダモ シウリザクラ ハリギリ オオハコダイジュ
 ダケカンバ ハウチワカエデ トドマツ ホオノキ ナナカマド キタコブシ
 ミズナラ バッコヤナギ

計14種



No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
5	チャラッセナイ林道 3-1	斜里町	2m×2m	2008/8/17 2008/9/19
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
1304	は	水源涵養保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
S10W	14度	壤土	湿潤	なし

調査地の概況[地形、景観等]

チャラッセナイ川右岸河畔に広がる過去の伐採時の土場跡。ハンゴンソウ主体の草地が大部分を占め、樹高2m前後キタコブシの幼木が点在している。土場周辺には母樹となりうるハルニレ、ヤチダモ、オオバボダイジュ、エゾイタヤ、ハリギリ、オニグルミ、ダケカンバなどの中・大径木が見られる。周辺は、良好な針広混交林に囲まれている。ただし、林道からのアプローチ時、足場が悪く、また川を数メートル渡渉する必要がある。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層	キタコブシ	2	20	
IV . 草本層	ハンゴンソウ	1.80	50	-

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III	2 1	キタコブシ

階層	被度・群度	種名
IV	3 4	ハンゴンソウ
	3 3	クマイザサ
	1 1	コンロンソウ
	1 1	イヌトウバナ
	1 1	ヒメジソsp
	1 1	クルマバソウ
	+	イブキヌカボ
	+	ミヤマネズミガヤ
	+	チシマアザミ
	+	ヨブスマソウ
	+	ホウチャクソウ
	+	ヤブマメsp
	+	ハルニレ
	+	ヤマブドウ
	+	エゾイチゴ
	+	エゾイラクサ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

エゾシカ: ①足跡多数

ヒグマ: ①足跡(前掌幅17cm) 080817確認

②足跡2個体分(前掌幅15~16cm、12cm) 080920確認

オシロコマ: ①チャラッセナイ川にて魚影確認

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)				
ハルニレ	5	39.0	48.0	34.0	45.0	58.0

■周辺の母樹

ケヤマハンナキ	ミズナラ	ハルニレ	ヤチダモ	イタヤカエデ	トドマツ
ハシドイ	ダケカンバ	キハダ	ホオノキ	ナナカマド	オオハコダマ
ヤマグワ	ハリギリ	オニグルミ			

計15種



No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
6	チャラッセナイ林道 3-2	斜里町	2m × 2m	2008/8/17 2008/9/19
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
1304	は	水源涵養保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
平坦	平坦	壤土	湿潤	なし

調査地の概況[地形、景観等]

チャラッセナイ川右岸河畔に広がる過去の伐採時の土場跡。ハンゴンソウ主体の草地が大部分を占め、樹高2m前後キタコブシの幼木が点在している。土場周辺には母樹となりうるハルニレ、ヤチダモ、オオバボダイジュ、エゾイタヤ、ハリギリ、オニグルミ、ダケカンバなどの中・大径木が見られる。

周辺は、良好な針広混交林に囲まれている。ただし、林道からのアプローチは、足場が悪く、また川を数メートル渡渉する必要がある。No.5調査地よりも河岸及び作業道に近い。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	クマイザサ	0.60	90	-

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	5 4	クマイザサ
	2 3	ヨツバヒヨドリ
	1 2	エゾフユノハナワラビ
	1 1	アメリカオニアザミ
	1 1	ヒメシラスゲsp
	1 1	シロツメクサ
	1 1	エゾイチゴ
	+	アキタブキ
	+	オオバコ
	+	イブキヌカボ
	+	セイヨウタンポポ
	+	イヌトウバナ
	+	オオミナグサ
	+	ヤチダモ
	+	ハルニレ
	+	ケヤマハンノキ
	+	イタヤカエデ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

エゾシカ: ①足跡多数

ヒグマ: ①足跡(前掌幅17cm) 080817確認

②足跡2個体分(前掌幅15~16cm、12cm) 080920確認

オシヨロコマ: ①チャラッセナイ川にて魚影確認

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)										
ヤチダモ	33	12.0	13.0	16.0	10.0	77.0	6.0	9.0	11.0	11.0	10.0	11.0
		10.0	14.0	8.0	9.0	9.0	22.0	12.0	15.0	13.0	25.0	10.0
		10.0	10.0	20.0	9.0	11.0	13.0	10.0	10.0	14.0	11.0	8.0
ハルニレ	5	15.0	17.0	13.0	16.0	22.0						
ケヤマハンノキ	2	22.0	16.0									
イタヤカエデ	1	14.0										

■周辺の母樹

ケヤマハンノキ ミズナラ ハルニレ ヤチダモ イタヤカエデ トドマツ
 ハシドイ ダケカンバ キハダ ホオノキ ナナカマド オオハコダイジュ
 ヤマゲワ ハリギリ オニグルミ

計15種



■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)		
イタヤカエデ	3	49.0	43.0	31.0
トドマツ	1	78.0		
ミズナラ	1	59.0		
オヒョウ	1	30.0		

■周辺の母樹

ウダイカンバ ナナカマド トドマツ ホオノキ イタヤカエデ ミズナラ
 オハホダイジュ シウリザクラ ハリギリ キハダ ヤチダモ ダケカンバ
 オニグルミ シラカンバ

計14種

No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
8	日の出林道 1-2	斜里町	2m×2m	2008/8/17 2008/9/19
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
1222	そ	水源涵養保安林	ホオノキ	
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
N88W	10度	壤土	適湿	あり

調査地の概況[地形、景観等]

No.7に近い調査区で、伐採時の土場もしくは採土跡地と推測される。

ヨツバヒヨドリ、カモガヤなどの草本が優占した草地だが、調査区内及び周辺にはホオノキ、ミズナラ、トドマツなどの幼樹、稚樹も比較的多く見られた。周辺の山林は、針広混交林。北にオホーツク海を望める。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm) *平均
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層	ホオノキ	2.9	10	3.3
IV . 草本層	ヨツバヒヨドリ	1.10	60	-

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III	2 1	ホオノキ

階層	被度・群度	種名
IV	4 4	ヨツバヒヨドリ
	1 2	カモガヤ
	1 2	カサスゲ
	1 1	ハンゴンソウ
	1 1	オオヨモギ
	+	ヤブジラミ
	+	シロツメクサ
	+	フランスギク
	+	ネジバナ
	+	オオバコ
	+	ヤマハハコ
	+	コウゾリナ
	+	イネ科sp
	+	アメリカオニアザミ
	+	アカツメグサ
	+	メマツヨイグサ
	+	エゾフユノハナワラビ
	+	ヒメシラスゲsp
	+	イタヤカエデ
	+	ヤマブドウ
	+	ナナカマド

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

- ①夏糞あり
- ②足跡あり
- ③周辺の広葉樹実生に被食痕あり

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

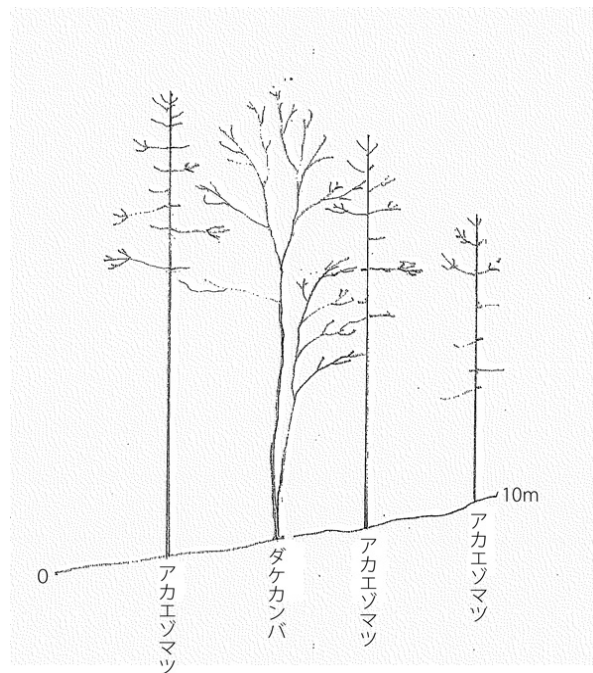
樹種	個体数	高さ(cm)						
イタヤカエデ	7	10.0	18.0	39.0	10.0	17.0	17.0	6.0
ナナカマド	1	17.0						

■周辺の母樹

ウダイカンバ ナナカマド トドマツ ホオノキ イタヤカエデ ミズナラ
 オハホダイジュ シウリザクラ ハリギリ キハダ ヤチダモ ダケカンバ
 オニグルミ シラカンバ

計14種

■概略断面図



■現況写真



■高木層優占種概況

I.高木層 アカエゾマツ (全21本中10本計測)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
胸高直径(cm)	8.0	10.2	15.3	17.2	15.1	18.5	13.4	15.3	12.7	12.7	13.8
幹周(cm)	25.0	32.0	48.0	54.0	47.5	58.0	42.0	48.0	40.0	40.0	43.5

■実生概況(調査区南東角2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)				
イタヤカエデ	5	20.0	22.0	19.0	12.0	20.0
トドマツ	4	13.0	30.0	60.0	27.0	
ダケカンバ	1	160.0				
オヒョウ	1	30.0				

■周辺の母樹

ホオノキ ミズナラ ダケカンバ ハリギリ ナナカマド イタヤカエデ アカエゾマツ
 キハダ トドマツ ケマハンキ シウリザクラ ヤチダモ オオバホダイジュ 計13種



No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
10	春苧古丹林道 1	羅臼町	2m × 2m	2008/8/11
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
209	口	土砂流出防備保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
平坦	平坦	埴壤土	適湿	なし

調査地の概況[地形、景観等]

調査地は、春苧古丹川中流右岸。広い盆地状の地形でチシマザサが密生する無立木地。幅4～5mで筋刈りがなされており、隣接地にはアカエゾマツが植栽されている(H20.6に一部植栽、約2haは今後の国民参加による植樹活動地として存置)。周辺の山林は、針広混交林。無立木地であるため周辺を見渡すことができ、北方には知西別岳の稜線を望むことができる。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm)
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	チシマザサ	0.05-0.20	3	

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	3 1	チシマザサ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

プロット周辺に、エゾシカ糞、足跡が多数有り
隣接地に流れる小川にオショロコマ生息
車から調査地までの間に、メスジカ1頭目視
また、キツネ糞1ヶ(2～3週間)

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

なし

■周辺の母樹

ダケカンバ	オノエヤナギ	ミヤマハンノキ	ヤチダモ	トドマツ	
ミズナラ	ナナカマド	ホオノキ	ハリギリ	アカエゾマツ	計10種

No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
11	春苅古丹林道 2	羅臼町	2m × 2m	2008/8/11
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
209	口	土砂流出防備保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
平坦	平坦	埴壤土	適湿	なし

調査地の概況[地形、景観等]

調査地は、春苅古丹川中流右岸でNo.10よりも林縁に近い。広い盆地状の地形で密なチシマザサに覆われたほとんど無立木地。幅4～5mで帯状にササが刈り込まれており、隣接地にはアカエゾマツが植栽されている(H20.6に一部植栽、約2haは今後の国民参加による植樹活動地として存置)。周辺の山林は、針広混交林。北方には知西別岳の稜線を望むことができる。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm)
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	チシマザサ	0.04-0.08	2	

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	2 1	チシマザサ
	1 1	オオイタドリ
	+	ハンゴンソウ
	+	ヨツバヒヨドリ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

プロット周辺に、エゾシカ足跡、糞多数有リ
プロット内エゾシカ食痕
オオイタドリに食痕
隣接地に流れる小川にオショロコマ生息
車から調査地までの間に、メスジカ1頭目視
また、キツネ糞1ヶ(2～3週間)

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

なし

■周辺の母樹

ダケカンパ	オノエヤナギ	ミヤマハンノキ	ヤチダモ	ハリギリ	アカエゾマツ	
キハダ	ミズナラ	ナナカマド	ホオノキ	トドマツ		計11種

No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
12	精神川林道 1	羅臼町	2m × 2m	2008/8/16
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
216	に	土砂流出防備保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
平坦	平坦	壤土	乾燥	多数(5~30cm)

調査地の概況[地形、景観等]

調査区は、精神川上流部の治山工事のために大規模に斜面を削った地形の最上部付近にある。平坦面にあるが人工的に削ったか、あるいは、土砂を盛り土して平坦にしたもの。広域的に見ると全体には南向き斜面を呈しており、調査区の下方向斜面は広くケヤマハンノキの実生が成長した幼木(高さ1~3m)に密に覆われている。周辺の山林は、針広混交林。

精神川の流域を見渡すことができ、遠方には根室海峡の海も一部見える。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm)
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	イ	0.28-0.40	45	

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	2 2	イ
	2 1	ヒメノガリヤス
	2 1	ケヤマハンノキ
	1 1	ヤマハハコ
	1 1	ウシノケグサ属sp
	1 1	ダケカンバ
	+	ヨツバヒヨドリ
	+	アキタブキ
	+	ヌカボ属sp
	+	ナナカマド
	+	トドマツ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

プロット周辺に、エゾシカ糞、足跡が多数有り

プロット内エゾシカ食痕

ケヤマハンノキ 3本枝先食痕(樹高: 85、75、55)

ダケカンバ 4本枝先食痕(食害で盆栽化高さ5~6cm)

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

樹種	個体数	高さ(cm)			
ダケカンバ	4	2.5	9.0	5.0	3.0
ケヤマハンノキ	3	88.0	76.0	55.0	
ナナカマド	1	8.0			
トドマツ	1	8.0			

■周辺の母樹

トドマツ ミズナラ ハリギリ ヤチダモ ダケカンバ ナナカマド
 ケヤマハンノキ シウリザクラ

計8種

No.	調査地名	所在地	調査範囲	調査日
13	精神川林道 2	羅臼町	2m × 2m	2008/8/16
林班	小班	指定等	樹種	施業計画・履歴
216	に	土砂流出防備保安林		
傾斜方向	傾斜角	土性	乾湿	礫の混入
S	14	壤土	適湿	多数(5～30cm)

調査地の概況[地形、景観等]

調査区は、精神川上流部の治山工事のために大規模に斜面を削った地形の中部にある。人工的に削ったか、あるいは、土砂を盛り土して緩やかな平坦斜面に造成したもの。イネ科草本による種子吹き付けが施されている。周辺の山林は、広葉樹主体の針広混交林。精神川の流域を見渡することができる。

群落名

階層構造	優占種	高さ(m)	植被率(%)	胸高直径(cm)
I . 高木層				
II . 亜高木層				
III . 低木層				
IV . 草本層	シロツメグサ	0.06-0.08	60	

階層	被度・群度	種名
I		
II		
III		

階層	被度・群度	種名
IV	4 4	シロツメグサ
	4 3	スズメノカタビラ
	3 3	ウシノケグサ属
	2 1	アキタブキ
	1 1	ヒロハウシノケグサ
	+	アメリカオニアザミ
	+	ヨツバヒヨドリ
	+	セイヨウタンポポ
	+	ハンゴンソウ

特記事項[動物: 目撃、痕跡等]

プロット周辺に、エゾシカ糞多数有り
プロット内エゾシカ食痕
シロツメグサに食痕

■現況写真



■高木層優占種概況

なし

■実生概況(調査区2m×2m内の実生を全てカウント)

なし

■周辺の母樹

トドマツ	ミズナラ	ハリギリ	ヤチダモ	ダケカンバ	ナナカマド
ケヤマハンキ	シウリザクラ				

計8種

「知床永久の森林づくり協議会」実行体制検討部会の検討状況

① 新たな体制検討チーム

(主な検討内容)

- ・ 企業から支援を受けやすい組織づくりについて
- ・ 様々な形で森林づくり活動に支援できる仕組みについて

② 受入体制検討チーム

(主な検討内容)

- ・ 体験メニューの企画・提供のあり方について
- ・ 地元関係者による連携・体制づくりについて（窓口となる団体、コーディネート体制等）

<9/4 第1回・知床開催>

(主な意見)

- ・ エゾシカ被害の認知度が低いため、広く一般に周知すべき。
- ・ 企業に対し、生物多様性保全に貢献するための具体的な取組を提示すべき。（防鹿柵設置など）
- ・ 用途を明確にした上で、寄付金を集めるという方法もある。

<9/5 第1回・知床開催>

(主な意見)

- ・ 受入体制については、既存の組織・団体等の中で検討するのが現実的ではないか。
- ・ 防鹿柵は個人用メニューではなく、企業支援を求めているかどうか。
- ・ 育林の重要性を理解してもらい参加動機付けに結びつけるべき。

(参考)事務局からの提案「フィールドの利用・活動実施のイメージ・案」

- ・ 国有林の既存の協定制度を活用し、地元団体と地元森林管理署（網走南部・根釧東部）が協定を締結した上で、当該フィールドでプログラムを企画・実施していく。

国有林フィールド
※現地調査等に基づき選定
※森林づくりのほか観察フィールド等も含め一体的に選定

地元団体等と森林管理署が協定を締結
・ 遊々の森林
・ 法人の森林 等

窓口となる地元団体が体験活動を企画、参加者を募集
→ 森林づくりや観察プログラム等

協議会（地元連絡会議）

- ・ 活動メニューの検討・提案
- ・ 指導スタッフの確保
- ・ 地元観光業等との連携
- ・ 情報発信

◎ 今後の予定

<11 月中～下旬 第2回・札幌開催>

(議題(予定))

- ・ 事務局案に対する意見
- ・ 生物多様性保全に向けた企業支援の提案（エゾシカ被害の実態と対策のPR等）

<11 月上～中旬 第2回・知床開催>

(議題(予定))

- ・ 事務局案に対する意見
- ・ 活動実施に向けた具体的な連携の可能性についての提案（→これを踏まえて体制を検討）